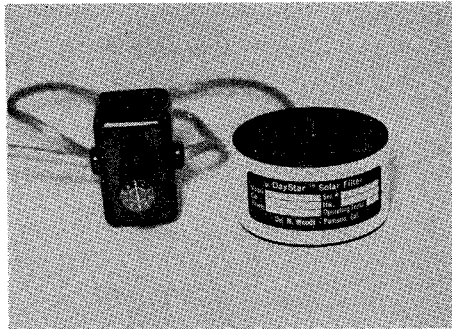
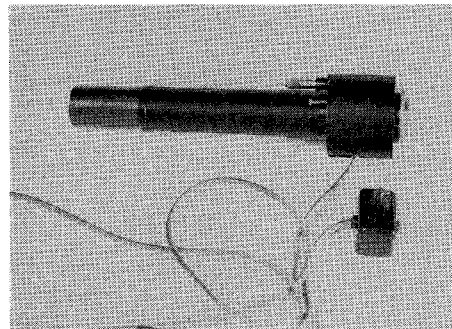


## Day Star社のソーラーフィルターを日本で発売



フィルター



写真撮影装置

### ◎H $\alpha$ フィルター(ファブリペロータイプ)

透過半波長幅 0.60Å~1.20Å 6種類

透過光線 F30以上

フィルター径  $\phi$ 32mm 重量 460g

6562.8Å波長 電気ヒーターコントロール式

ヒーターコントロール トライアック式 100V~110V 50~60Hz

価格 ¥285,000~

### ◎フィルター用写真撮影装置

波長位置 移動マイクロメーター付

フィルター透過主光線は平行光線

望遠鏡はF15用 ¥78,000

### ◎H $\alpha$ 以外のフィルターも製作しています

3700Å~2.5 $\mu$ m 波長幅 0.4~100Å

(株)西村製作所

〒606 京都市左京区吉田二本松町27

TEL (075)691-9589

わが国唯一の天体観測雑誌

# 天文ガイド

定価280円(〒49円) 79-4月号・3月5日発売!

#### ●4月号のおもな内容

★4月は、ちょっとめずらしい天文現象があります。4月24日、金星が月にかくれます。まっ昼間のことですが、糸のように細い月が金星をかくしてゆきます。小型望遠鏡・双眼鏡でも見られます。藤井旭さん。

★アメリカのスカイラプが、今年の秋から暮によいよ落ちてきます。春のうちから観測を重ねておきたいもの。加茂昭さんの連載が始まります。

★衛星同士の食現象とはなに?木星の四大衛星はよく食を起しますが、なにがどうなったのが食なのか、掩蔽観測グループの小川嘉一さんの解説です。

★さくらカラー400で天体写真を写してみたら?…ほか

## 写真で見る 自作天体望遠鏡

天文ファンが自分で作った望遠鏡といえば、昔からもう相場がきまっていました。しかし、最近では天文ファンのあいだで、とてもシロウトとは思えない大型望遠鏡や特殊な望遠鏡が作られ、大活躍しています。

天文ガイド編集部では日本全国から情報を集め、既に有名になっている大型望遠鏡や、まだだれも知らない特殊なもの、すごく便利なポータブル望遠鏡などを写真で紹介しました。●天文ガイド編/B6判・700円発売中

## 天文年鑑1979

●天文年鑑編集委員会編/B6判・430円発売中

## 全天星雲星団ガイドブック

●藤井旭著/A5変型判・332ページ・1,500円発売中

誠文堂新光社 東京都千代田区神田錦町1-5  
振替東京7-6294 電話03(292)1211